

みなもの歴史散歩 No.6

国神の大イチョウ
 国神の地を
 見守ってきた巨木



社会教育担当
 馬場

紅葉がキレイな季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしですか？今回は、この季節にぴったりの文化財をご紹介します。

国神のイチョウの巨木

国神神社から歩いて約十分、閑静な住宅地の中に突如現れる巨大なイチョウの木は、『国神の大イチョウ』と呼ばれています。国神の大イチョウは、主幹(中心となる幹)の大部分が枯れた後、多くの幹が成長して一大株となった巨木です。樹周8.2m、樹高22.7mの大木で、平成三年の環境省の巨木・巨木林調査では、県内巨樹の幹周順位で第九位に入っています。また、この調査結果によると、この巨木の樹齢は三百年以上となっています。

大イチョウから東に少し行った場所にも大きなイチョウの木があり、こちらは姫イチョウと呼ばれています。

大イチョウにまつわる言い伝えとは・・・

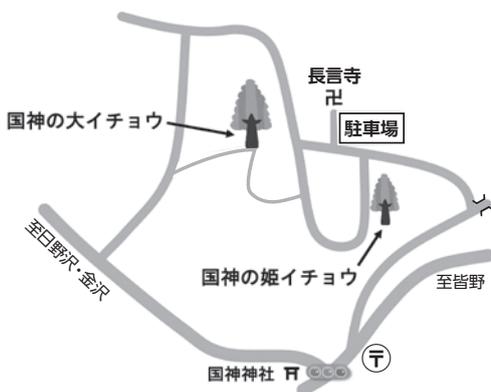
国神の大イチョウ・姫イチョウに関する記事は古くから文献に載っています。

江戸時代後期に編さんされた『新編武蔵風土記稿』には「小名(村内を小分けした名前)国神トイヘル所ハ、村ノ西塚上ニ銀杏の古木アリ…」と、既に国神のイチョウの大木についての記述があります。

言い伝えでは、大イチョウは初代知知夫国造(秩父地方の支配者)である知知夫彦命の墓、姫イチョウは知知夫姫命の墓のそばに植えられた木といわれています。国神の地名はこの伝承にちなんだものです。

国神の大イチョウは県内有数の老大木であることから昭和十五年に埼玉県指定天然記念物に指定されています。

十一月中旬下旬が黄葉の見頃となりますので、ぜひご覧ください。(長言寺境内付近に駐車場があります)



ひとり親家庭児童 就学支度金

低所得のひとり親家庭の児童が中学校へ入学するとき、就学支度金を支給します。該当するかたは申請が必要です。

対象(次のすべてに該当するかた)

- ①母子家庭、父子家庭の親または父母のいない児童を養育している
- ②養育している児童が、平成30年4月に中学校に入学予定
- ③申請者の世帯が住民税非課税世帯
- ④生活保護を受給していない

支給額 児童1人につき1万円
 必要書類 振込先金融機関の口座を確認できるもの(預貯金通帳など)
 申込み 11月30日(木)まで

問合せ 健康福祉課 福祉介護担当 ☎62-1233